![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　平成２８年１２月号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　園長　平澤　正則

研修会報告

県南地区幼稚園PTA連合会の研修会（11月15日（火）　土浦市民会館）の内容の一部をお知らせします。

同連合会では毎年1回秋にこのような講演会を開き，小ホールが一杯になるくらい多くのお母さん方が集まっています。本園でもおてがみなどでお知らせした結果，今年も自主的に2名の参加がありました。私は今年まで3年連続で出席していますがいずれもすばらしいお話であり，来年はもっと積極的に保護者の皆さんを誘いたいと思いましたので，1年後またお誘いの通知を差し上げますのでその時はよろしくお願いいたします。

講師の紹介　　徳田　克己（とくだ　かつみ）先生

　　　筑波大学医学医療系教授　教育学博士　臨床心理士　育児相談年間1200件以上

筑波大学発ベンチャー企業子ども支援研究所所長　　著書多数

　　　　　　　　　　　幼稚園，県立盲学校，保育者養成校での勤務経験あり

話その１　クレヨンしんちゃんのすすめ

　　　　人前でお尻を出したり，自分の母親を『みさえ』と呼び捨てにしているしんちゃんを見て（実際にはテレビを見ていない人も相当いるとか）下品な番組と思いこんでいる方が多いそうですが，徳田先生は「生きる力を育む漫画としてぜひ視聴をすすめたい。」と言っています。そのわけは，しんちゃんが自分を取り巻く大人や子どもたちに思いやりをもって接することができる子どもであり，困難に対していろいろな知恵を出して逃げずに（逃げるときには逃げるという知恵も）生きている子どもだからだそうです。

話その２　テレビを見せないと言語発達が遅れる

　　　　俗悪番組は見せたくないとの思いでテレビを全く見せない親がいるとのことです。しかし，家庭内に祖父母や兄弟姉妹がいない子どもは親との接触が唯一のコミュニケイション相手となりますが，その親が忙しかったりすると「言葉を聴く」機会が非常に少なくなり，言語の発達が遅れるそうです。そういう場合テレビが発する言葉がその発達に有効だとのことです。例えば「ピラミッド」といわれればその形やある場所，場合によってはその大きさや歴史に至るまで，実際には見ていなくとも間接的に「ピラミッド」を体験でき，その言葉の意味を深く理解するのだそうです。

話その３　東大に入る子どもは自分の部屋では勉強しない。

　　　　居間で勉強するとそこにいるお母さんにわからないところを訊くことができたり，日常会話の中から学習への思わぬ発展があったりもするが，自分の部屋に閉じこもって果たして集中して勉強をする子どもはいるのか疑問だということです。現役の東大生や全国の進学校の高校生への聞き取り調査の結果だそうです。親は静かな環境を与えれば…と思うのでしょうが，これから家を建てる人には参考にしてほしいなと思いました。

　ところで，育児書の貸出ですが，このあいだやっと一人目があらわれました。うれしいです。年内に徳田先生の著書も購入しますのでリクエストしてください。 　 　　　　　　　　　　　 （2016.12.16）